令和２年 第３回 定例会

９月７日～９月２５日	
２３案件	
議案	９案件
認定	８案件
報告	５案件
行政報告	１案件

●質疑とは……
議会に提出した議案に対してその内容や不明な点を聞くことです。

予算決算常任委員会

Pick up 1 黄金地区に タクシーチケット配付

黄金地区の75歳以上の方々を対象にチケットを配付します。今後は、ほかの地域についても展開させていく予定です。

こんな質疑がありました。

質疑▼この事業のねらいはなにか。

答弁▼高齢者などを対象にした将来的な公共交通の計画を策定中である。
スクールバスを活用することも視野に入れ、今回黄金地区を対象とした。
また、コロナ禍におけるタクシーの利用促進もねらいである。

タクシー利用でより快適に

予算決算常任委員会

Pick up 2

コロナ禍の農業・漁業 市独自の経済対策へ

国の補助金を受給できない農業従事者へは伊達市農業協同組合に3千9百万円、水産物の消費拡大事業を行ういぶり噴火湾漁業協同組合へ3千万円を補助します。

こんな質疑がありました。

質疑▼補助の具体的な内容は。

答弁▼経営継続に取り組む農業従事者に対し事業の2/3を上限80万円で補助する。漁業の経済対策として行うホタテ直売会に補助する。3密を避けるためドライブスルー方式で安価で市民に提供する。時期は11月末を予定。

質疑▼令和2年に起業された事業者の殆どが公的支援の対象外だが、支援検討の考えは。

答弁▼関係団体の意見を聞き協議していく。

農業の持続化は伊達の活力

予算決算常任委員会

Pick up 3

有珠の公共トイレ、撤去へ

対象となるトイレは「善光寺前トイレ」「総根トイレ」「森トイレ」「石橋トイレ」「恋人海岸トイレ」の5カ所です。予算総額は合計で494万円です。

こんな質疑がありました。

質疑▼改修はしないのか。

答弁▼その予定はない。

質疑▼無くなることの影響は。

答弁▼全て昭和50年代に建設され、古くて利用が少ない。影響は殆ど無いと考える。

質疑▼夏場のキャンプの客が困るのではないか。

答弁▼有珠の生活館が移転改築される計画があり、公衆トイレとしての機能を持たせる予定。

質疑▼跡地利用については。

答弁▼土地は民地となっており、無償貸与の覚書があるので、土地は返還する。解体のきっかけの一つは、地権者からの老朽化相談もある。

解体予定の「恋人海岸トイレ」

予算決算常任委員会

Pick up 4

オープンから1年 今後の方向性は

開館して1年が経過した『だて歴史文化ミュージアム』の決算状況を踏まえ、当初目標に達しない来場者数や管理費など、今後の運営方法などについて質疑しました。

こんな質疑がありました。

質疑▼光熱費が多くかかっているが、節電可能か。

答弁▼展示ケースの基本設定温度、湿度を天候により維持しながら、今後も効率的な節電に繋げたい。

質疑▼今後も通年で開館する予定か。

答弁▼開館して一年が経ち、イベント数、入場者数が見えて来た。経費面を考えながら検討し、季節によって休館する場合は、次のイベント準備期間としたい。

質疑▼来場者数が1万8千人と目標の3万人に対して少なかった原因は何か。

答弁▼ミュージアムの認知度がまだ低く、PR活動を進めていきたい。

だて歴史文化ミュージアム本館の常設展示場

予算決算常任委員会

Pick up 5

伊達150年記念事業はDVD化されるのか

カルチャーセンターで開催された記念事業やだて歴史の杜公園の特設会場で開催された花火ショーなどの伊達150年記念事業にかかった経費3千2百万円を認定しました。

こんな質疑がありました。

質疑▼特に来場者からも好評だった花火ショーなど記念事業の映像を収録したDVDを販売する予定があるのか。

答弁▼花火ショーで使用した楽曲の著作権料などが非常に高く、制作した場合は原価で5千円以上になり、一般販売は難しいと判断した。楽曲を使わない写真集なども検討している。

質疑▼花火ショー以外の様々な記念事業の記録は資料として保存するのか。

答弁▼式典など他の行事もあったので、今後のために参考資料として丁寧に保存する。

150年記念事業の花火ショーの様子

予算決算常任委員会

Pick up 6

今後どうなるのか 伊達市堆肥センター

平成16年に操業を開始した喜門別町にある伊達市堆肥センター。稼働を始めて16年になり、臭いや腐食の問題等、課題が多くあります。今後の方向性について質疑しました。

こんな質疑がありました。

質疑▼決算額が増えた理由は。
答弁▼人件費、物件費が高騰したため。
質疑▼今後も活用するのか。
答弁▼課題が多く、抜本的な対応が必要。2～3年以内に、方向性を出す。
質疑▼腐食の問題は。
答弁▼一次処理を行う建物は、発生するアンモニアの影響を受け、厳しい状況にある。
質疑▼水産系雑物については。
答弁▼置き場所がないのが問題。雑物は減っていかないので、引き続き対応を検討する。
質疑▼大滝区については。
答弁▼統合する方向で考えている。

喜門別町にある「伊達市堆肥センター」

予算決算常任委員会

Pick up 7

ワイン醸造用ぶどうの生育状況

試験栽培に係る苗などの購入費、技術指導者の経費などにかかった390万円が認定しました。

こんな質疑がありました。

質疑▼昨年6月に定植した苗の生育状況は。
答弁▼害虫の被害も少なく定植した2千本の内、99％以上の苗木が順調に育っている。
質疑▼技術指導をいただいているワインメーカーの担当者からはコロナ禍の中でアドバイスを受けているか。
答弁▼現地の様子を撮影し、画像で報告、管理に必要な情報をメールで相談するなどオンラインで指導を受けている。今後は現地において指導していただく予定。

順調に生育している醸造用ぶどう